

焼津市子ども読書活動推進計画（第三次）（案）への意見募集について

提出された意見の内容及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

●意見募集期間 令和6年2月1日（木）から2月29日（木）

●意見提出件数 2人 10件

●提出意見の内容及び市の考え方 （下記に記載）

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>「P13 地域施設の充実」について 地域交流センターの図書室を充実させていくという方針に賛成。そのための予算をこれまで以上に確保してほしい。例えば、港公民館の図書館は、本館であまり読まれない本や古い本が多く、子どもたちが「読みたい！」と思うような本が少ない現状がある。落ち着いて自習をしたい中高生にとっても、学習しやすいよい環境とは言い難い。小川公民館や和田公民館など、新しい地域交流センターは子どもたちにとって魅力的な図書室に近づいていると思うが、古くからある建物を使っている地域交流センターの図書館をどのように予算をかけて充実させていくのか、考えてほしい。特に三ヶ名や大井川の本館へ行くのに、子どもが自力（徒歩や自転車）で行くことが難しいエリアこそ、真剣に取り組むべきだと考える。その場所が地域の読書活動の核となる場所になるように。</p>	<p>現在、地域交流センター図書室の本は、定期的に入れ替えと新刊本の配本を行い、新しい本と古い本の偏りをなくして、できるだけ地域のニーズに合った配置となるよう努めております。</p> <p>また、大井川を除く地域交流センター（公民館）では、市内の小中学校で使用しているタブレット端末から Wi-Fi を利用して、焼津市立図書館のホームページで読みたい本等の検索や予約をすることができます。予約した本を自宅近くの公民館で受け取ることもできますので、焼津図書館や大井川図書館に出向かなくても、読みたい本を手にとることが可能となっています。</p> <p>今後も各地域交流センター図書室の利用案内に努めるとともに、市立図書館と各地域交流センターとの連携により図書館資料の配本・整理に取り組み、子どもたちの身近に本に親しみ、読書を楽しむことができる場を整えることができるよう努めてまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
2	<p>「P12 やいづえほんとの充実」について 個人的な意見で申し訳ないが、以下の3点について提案したい。①えほんとの本の貸し出しをすることを検討してほしい(子どもが興味を持った本をその場で借りていきたい)。②くつを脱がなくてもすべての本が手に取れるように、1階フロアはほぼ靴なしで歩けるようにするなど、さらに快適な環境を作ってほしい(靴をはかないと行けないカフェスペース付近の本はあまり手に取られない傾向がある)③子どもが手に取った本をもとの場所に戻さなくても、「ここに返してね」というゾーン(三ヶ名の本館の絵本コーナーにはある)があると、保護者は安心して過ごせる。</p>	<p>①「やいづえほんとの充実」について御提案をいただきありがとうございます。</p> <p>やいづえほん(以下、「えほん」という。)のサービス基本方針の中で、絵本の貸出しは行わず、館内での閲覧とすると定めています。それにより、人気の絵本が長い期間書架からなくなることがなくなり、いつ来館しても自分のお気に入りをはじめとした多くの絵本と出会う機会を得ることができます。</p> <p>えほんとは、今後も本に出会う機会にあふれた空間を目指してまいります。</p> <p>②えほんとは絵本を通じて新たな世界と出会える空間であることから、赤ちゃんや御両親をはじめとする絵本体験をする場合は、ゆったり安心できる場所として、靴を脱いで御利用いただいています。</p> <p>しかしながら、えほんがあるターントクルこども館は、利用者の安全面などを考えて、えほんなど一部を除いて土足で利用する仕様・設計としておりますので、御理解をいただきたいと思っております。</p> <p>③えほんとは、子どもたちの自由を妨げることはしないため、好きな場所で絵本を自由に楽しんでいただけますが、本を返す場所がわからなくなった場合は、えほんにあるカウンターかお近くにいる職員に本を渡してください。</p> <p>本を返す場所につきましては、今後、利用者の皆様からの声を聞きながら調査をしてまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
3	<p>地域交流センターについて 耳慣れない言葉で最初新しい施設と思ったのですが、公民館からの移行ですね。その旨の説明（注釈）を加えたほうがいいのではと思いました。</p>	<p>計画書の6ページ1行目に「地域交流センター（公民館）」と記載してあります。地域交流センターにつきましては、令和6年4月1日以降の名称変更となるため、今後浸透していくものと考えます。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
4	<p>p23 家庭・地域との連携〈現状・課題〉のウで、「学校まで本を届けるサービスを始めました。」とありますが、団体貸しだし利用時におけるものですか？団体貸し出しにおいて、との文言が入ったほうがいい気がしました。</p>	<p>本項目では、団体貸出し（図書館が教育施設・福祉施設・読み聞かせのボランティア等の団体へ貸出しすること。）について説明しております。御指摘のとおり個人へ貸出しする図書と混同することのないよう、「団体貸出しの」を追記し、「学校まで<u>団体貸出しの本</u>を届ける」としました。また、団体貸出しについて、初出となる8ページに用語説明を追加しました。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
5	<p>電子書籍の導入について</p> <p>p1の2子どもの読書活動を取り巻く状況のなかで、「電子書籍やタブレットによる学習など、文字を読む方法についても選択肢がひろがっています。」とありますが、電子書籍の導入について、計画の中で触れているところがありません。学校図書館あるいは市立図書館で、電子書籍導入の予定はないのでしょうか？ 藤枝市立図書館のホームページを見ると電子図書館—電子書籍のコーナーがあり、そのなかに児童向けの読み放題パックというものがあります。児童・生徒の端末からも同時に複数人がアクセスできるものらしいですが、こういったものの導入は全く検討されていないのでしょうか？今の時代だからできるこのような書籍利用方法があれば、予算が少なく本の購入になやむ学校図書館への一助となると思います。予算化など、学校側か市立図書館側？など各種問題はありますが、どちらの予算ととらえるのではなく、焼津市としての予算として子どもたちの読書の幅を広げるために、計画の中のどこかで、導入に向けての取り組みを繰り入れてもらえるよう、検討を希望します。</p>	<p>子どもの読書活動の推進に関する法律が制定された背景には、テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されはじめたことも要因の一つであると考えておりますので、子どもたちには紙の書籍の感触や紙に印刷された活字を目で追う楽しさを感じてほしいと思っています。</p> <p>しかしながら、電子書籍やタブレットによる学習など、文字を読む方法について選択肢がひろがっていることも事実です。</p> <p>文部科学省の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、学校の図書室での読書だけでなく、一人1台端末を配備する「GIGA スクール構想」の端末を利用した電子書籍の貸出しなど学校図書館のDX（デジタルトランスフォーメーション）を強化しています。</p> <p>したがって、電子書籍につきましては、「2 地域における子ども読書活動の推進」内の「(1) 市立図書館の整備・充実」9ページ「<施策の方向>イ」に「また、電子書籍の導入については、デジタル化の進展により、電子書籍やタブレットによる学習など、文字を読む方法についても選択肢が広がっている現状を考慮し、今後の動向を注視しつつ、近隣市町や県内の先進図書館の事例を検証、研究していきます。」と追記します。</p> <p>電子書籍の導入は、子どもの読書活動推進計画とは別に、図書館として取り組まなければならない課題と捉えておりますので、近隣市町や県内の先進図書館の事例を検証、研究してまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
6	<p>GIGA スクールにおける学校図書館の位置づけ</p> <p>はじめに、で教育長あいさつの中に、「学校図書館でもタブレット端末を活用した図書館活動が求められています」とあり、p21.22 で若干触れられています。現状は、無線LANの整備外など学校図書館は構想の外側にいる（ある）、と感じています。子どもと本をつなぐ場として、GIGA スクール構想の中に学校図書館を入れた具体的な施策をお願いします。</p>	<p>学校図書館の学習センターとしての機能を考えるうえで、タブレット端末の活用等については研究の必要性を認識しております。</p> <p>本計画を進めていく中で研究して参ります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
7	<p>資料（蔵書）の充実について</p> <p>p 19、20 古い蔵書の廃棄などが認められやすくなり、蔵書の更新は以前よりすすんでいると思います。しかし予算的に変化がない中、本当に更新が進んでいるかは疑問が残ります。勤務校の場合、市教委への報告冊数では、古い資料を含んで図書標準達成率9割弱。学校図書館協議会の廃棄基準に照らし合わせた図書標準達成率は7割程度と推測します。古い本の廃棄をすすめ、あらたに本を購入しても、10年後達成率100%の目標値には届かないどころか、達成率100%になる日はくるのだろうか？というのが本音です。このあたりの現状をしっかりと把握し、目安としての図書標準はあるが、質の良さを優先していけるよう希望します。</p>	<p>学校図書標準の達成について、三次計画の努力目標は、小・中学校ともに100%を設定しております。これは、二次計画の努力目標100%を引き継いだものであります。二次計画中は、各学校図書館の取組の結果、図書標準の達成状況は平成24年度の調査の結果から上昇しており改善が見られました。学校規模等、各学校図書館の様々な事情があると考えられますが、三次計画においても努力目標の達成に向けて図書の整備を進めてまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
8	<p>学校図書館のネットワーク化</p> <p>p 20 エ 小・中学校の学校図書館の連携 ―― 相互貸借など p 26</p> <p>(2) 10年前の推進計画も同じような表現でしたが、ここ10年で研究はされたのかというと、否でしょう。10年前とデジタル的な環境など状況が激変している中、学校図書館を置き去りにすることのない具体的な施策を希望します。</p>	<p>No. 8 の御意見の回答につきましては、No. 9 の御意見と併せて回答しています。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
9	<p>カーリル学校図書館支援プログラムについて 相互貸借など学校図書館間の連携推進に役立つと思う、「カーリル学校図書館支援プログラム」というものがあります。これは、全国の図書館を検索できるサイトを運営する会社（カーリル）が、「学校図書館などを対象にインターネットからの蔵書検索と、簡易的な予約受付の仕組みを無償で提供」しているものです。焼津市立図書館などが加盟利用しているカーリルのサイトとは違い、「原則として各学校単位の蔵書検索を提供しますが、地域やグループなどの運用にあわせて横断的な検索サービスの提供も可能ですのでご相談ください」（カーリルホームページより）とあるように、デフォルトでは自校の検索のみ可能で、他所からの検索はできない仕様です。このプログラムを利用すると、自校図書館の蔵書検索と予約（設定による）まで、児童・生徒が持つ自分の端末から行うことができます。設定によっては、自校図書館だけではなく、焼津市立図書館など指定の公共図書館の蔵書検索をあわせてでき、仕組みを整えれば相互貸借などにも利用できるプログラムです。心配なのはセキュリティ対策だと思いますが、カーリル側に渡る情報は、学校図書館にある書誌データ（本の情報）のみで、個人情報はありません。また、カーリルホームページによると「カーリルは、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISO 27001」の認証（ISMS 認証）を取得しています。」とあり、セキュリティ対策がしっかりしています。京都市では教育委員会が主体となって令和5年度から市に全校に導入が決定されたとの情報がありました。また、近隣の吉田町でも、教育委員会からの申し込み、各校での対応で利用がされているそうです。「研究します」で終わるのではなく、このようなプログラムの利用を通して一歩でも前に進めることができるよう、学校図書館という現場への後押しをお願いします。</p>	<p>学校間の連携推進のため、計画を進める中で、カーリル学校図書館支援プログラムの活用も含め、学校図書館間のネットワーク化及び相互貸借について研究し、学校現場への情報提供に努めてまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
10	<p>終りに</p> <p>昔に比べて、乳幼児期の取り組みなど、いろいろされるようになってきました。これは、喜ばしいことです。</p> <p>今回の推進計画の中で書かれていることについては、概ねその通りだと思えます。それをどう実施していくのが、最大の課題ではないでしょうか。</p> <p>10年後の目標値に少しでも近づけるよう、各種施策を実施するための具体案が出され、それらを実行していく各所からの後押しが得られることを期待します。</p>	<p>前回の二次計画に引き続き、子どもたちが読書のすばらしさを知り、一人一人の子どもがたくさんの本と出会えるよう、基本方針を基に読書活動推進の取組を強化し、子どもが読書に親しむための環境づくりや、きっかけづくりのために計画的、継続的に取り組んでまいります。</p>